

ユメノ銀河 (1997)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 90分

初公開日 1997/02/15

公開情報 ケイエスエス

【解説】

戦後も間もない、ある地方都市。少女たちの憧れの職業である乗合バスの女車掌に就いたトミ子は、しかし変化のない仕事に嫌気がさし始めていた。そんなある日、トミ子の親友ツヤ子が、婚約者の運転するバスに同乗していて事故死したという知らせが届く。弔問の帰り道、トミ子は女車掌の間に流れるある運転手の噂を耳にする。転々とバス会社を変えるその男と組んだ車掌は、必ず謎の死を遂げているというのだ。それからしばらくして、トミ子の勤める玄海バスに、都会の雰囲気漂わせた青年が運転手として入社してくる。新高という青年の名を聞いたトミ子は、彼がツヤ子の婚約者と同一人物であり、しかも一連の女車掌の事故死は彼による殺人ではないかとの疑いを持つ。新高と組んだトミ子は彼の正体を暴くため事ある毎に観察を続けるが、次第に新高の不思議な魅力に惹かれていく。拭い切れぬ疑惑を抱いたまま、トミ子は命がけの恋に突き進んでいくのであった……。

夢野久作の連作短編「少女地獄」の一篇「殺人リレー」を原作に、『エンジェル・ダスト』『水の中の八月』の石井聰互が危険な恋に落ちるひとりの女の心象を描いた劇場用映画。全編モノクロームの画面は常に緊張感に満ち、明快とは言い難いストーリーに妖しい魅力を与えている。

【クレジット】

監督	石井聰互	
製作	須崎一夫	
企画	伊藤靖浩	
	神野智	
プロデューサー	下田淳行	
	鎌田賢一	
原作	夢野久作	「少女地獄」
脚本	石井聰互	
撮影	笠松則通	
美術	磯見俊裕	
	高橋栄香	
編集	鈴木勲	
音楽	小野川浩幸	
出演	小嶺麗奈	友成トミ子
	浅野忠信	Tadanobu Asano 新高竜夫
	京野ことみ	山下智恵子
	嶋田久作	Kyusaku Shimada 黒トンビの男
	黒谷友香	月川艶子
	真野きりな	アイ子
	松尾れい子	松浦ミネ子

鄭義信

池田武志

近藤結宥花

本阿弥周子

恵比寿

強面

艶子の姉

艶子の母